



cine/RT BULLETIN

Dear FOCUSBUG COMMUNITY,

私たちはあなたが人生と仕事で幸せで健康であることを願っています。今年は私たち全員にとって困難な年であり、Focusbugのチームにとっては非常に忙しい時期でした。ご存知のように、厳しい製造スケジュールに加えて、新しいファームウェアの開発、新製品の設計を行っています。そして、人気のあるレンズ制御システムとの貴重な統合を構築します。私たちが取り組んできたものと間もなく登場するものについて簡単にレビューしたいと思います。

COMING SOON: V.21 FIRMWARE

皆様からいただいたご意見をもとに、メニュー操作や表示形式、システムアラートなど、ユーザーエクスペリエンスの向上に重点を置きました。操作、表示フォーマット、システムアラートなどを改善しました。また、レンジファインダーのコアとなるアルゴリズムを見直し、データのスピードと安定性を向上させることを使命としています。最近、いくつかのLCSメーカーと協力し、より高速な（単一指向性の）データを提供できるようになったことは、私たちの喜びでもあります。そのハイライトは、もちろん新しいArri Hi-5 LCSとの双方向通信です。V.21は近日中に発表される予定です。

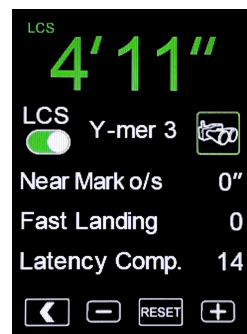
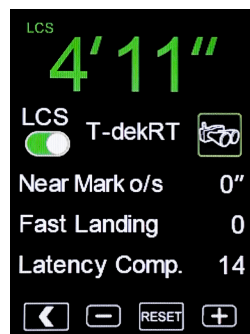
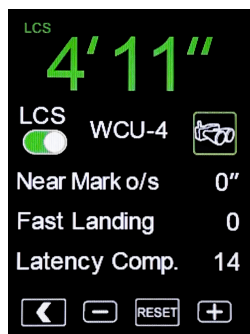
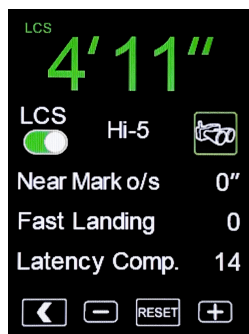
- ENHANCED RANGEFINDER DSP with MULTI-PING MODE

データ収集と処理も見直されました。ターゲット加速度のサンプル間変化を追跡を追跡し、そのデータを用いて全体の応答性を向上させました。また、近距離では、自動的に2回連続でPingを打ち、両方の測定値を計算に使用できるようになりました。これにより安定した測距が可能になりました。オリジナルにこだわりたい方はオールドスクールモードがあります。LCSのフォーカス追従機能には、この改良されたデータが重要な役割を果たします。

- CUSTOM LCS SERIAL PROTOCOLS

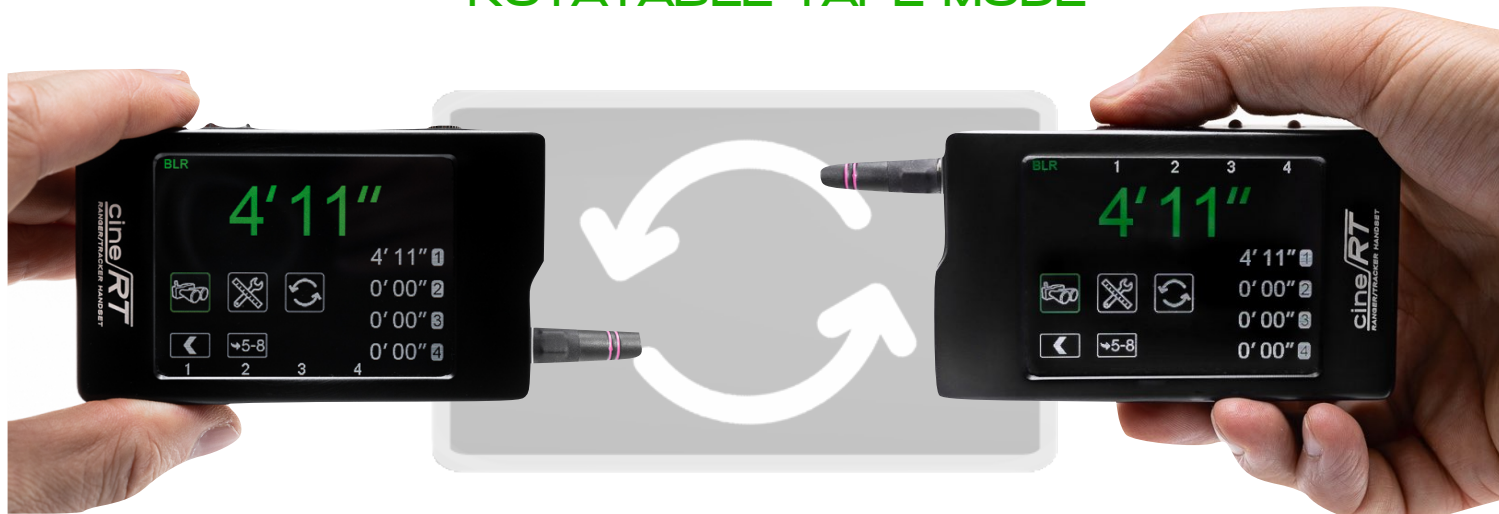
ARRI (c motion)、Heden、Teradek RTのエンジニアとチームを組み、より高速なシリアルプロトコルを設計・提供します（サードパーティデバイス用にPrestonの高速プロトコルをオプションで用意していました）。レンズ制御システムに最適なシリアル出力を選択することができます。レンズ制御システムが最適化されたデータを受信できるように設計されたシリアル出力を選択できるようになりました。カスタムプロトコルは Hi-5, WCU-4, Ymer-3, c pro (plus), Teradek RT (MDR.X) レンズコントロールシステムで使用可能です。

- LCS FOCUS TRACKING MENU



LCS Focus Tracking Menuは、レンズコントロールシステムのフォーカストラッキングまたはオートフォーカス機能を最適化するために、いくつかのDSP設定を採用することができます。LCSの新しいシリアルプロトコルと、各システム用に設計されたカスタムレイテンシー補正により、フォーカストラッキング使用時の遅延を最小に抑えることができます。Heden Ymer -3 LCS*を使用した以前のテストの一部はこちら:<https://www.focusbug.com/focustracking>。このテストは Cine RT BUG Txをソースとして実行されました。WCU4、c pro、Teradek RTシステムでLCS Focus Tracking Menuの設定を使用した場合の新しい映像は、近日公開予定です。

- ROTATABLE TAPE MODE



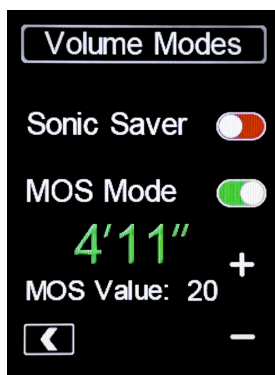
ディスプレイの大きな改良点のひとつに、回転可能なテープモードビューがあります。超音波センサーをベースセンサーに向けた状態で、タッチキーの「回転」を押すだけで、画面を好きな向きに変更することができます。回転させることで、左右どちらにも対応できます。

- BLUE SOURCE TWO in 2X VIEW MODE



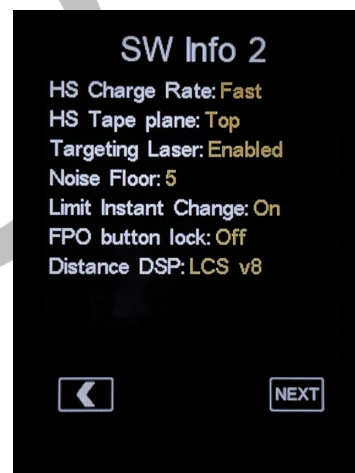
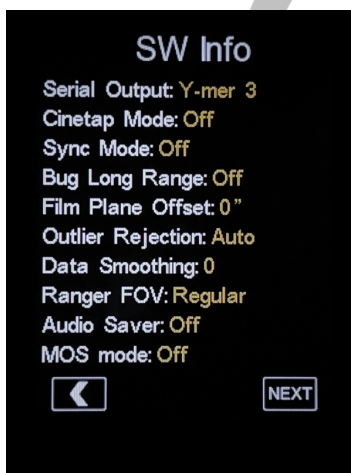
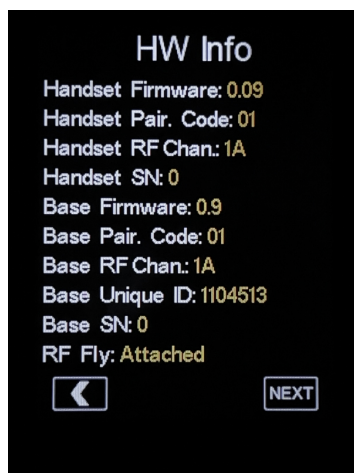
2倍表示モードのソース2は、ソース1との区別を容易にするために青色に変更されました。なぜ青なのか？ベータテストでは、青色は携帯電話のLCDタッチスクリーン上で他の色よりも視認性に優れ、ソース1の緑色とうまく対比されることが明らかになりました。

- MOS MODE with MAX-PING



MOSモードには、ボリュームモードのSonicSaver（「Soundguy」）アイコンからアクセスできます。Sonic Saveとは異なり、サウンド部門の「友達」を感動させることはありません。再生やファンのような非常に大きな背景音がCineRTの超音波操作を圧倒しているMOS状況で使用します。「MOS値」と呼ばれる調整可能なノイズフロアは、その値を下回る信号をすべて取り除きます。つまり、ノイズフロアが高いほど、不要な読み取り値が少なくなります。レンジファインダーはMOSモードでは常に最大音量でpingを実行するため、同期サウンドでの撮影は間違いなく適切ではありませんが、スタントやミュージックビデオなどには最適です。

- HARDWARE & SOFTWARE INFO PAGES

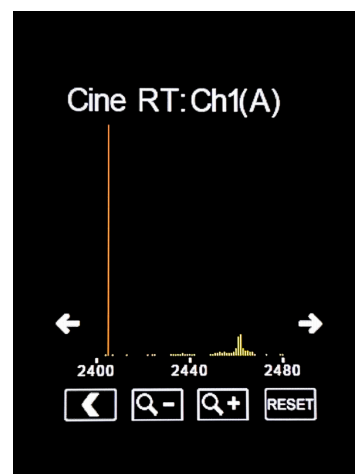
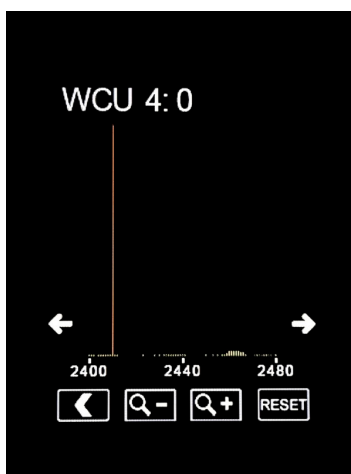
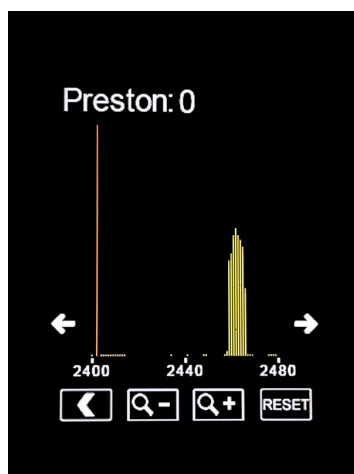


CineRTシステムのハードウェアとソフトウェアの設定を表示するための3つの情報ページを追加しました。システム設定の「INFO」タッチキーを使用してこれらのページに簡単にアクセスし、現在のファームウェアバージョン、ペアリングコード、RFチャンネル、シリアル出力、現在選択されている設定などを確認できます。これらのページは、すべてのシステム情報に一度にアクセスする必要がある状況のトラブルシューティングに役立ちます。FocusbugHQのチームメンバーと話すときに特に役立ちます。

- START-UP COMMS INFO

これで、ペアリングコード（システムID）、RFチャンネル（1~8）、およびプロトコルID（AまたはB）が、オンになっている各コンポーネントのLEDウィンドウまたはLCD画面に表示されます。これは、コンポーネントが他のシステムコンポーネントに対してずれている場合に役立ちます。システム通信を再開するには、どの設定を調整する必要があるかをすばやく確認できます。

- RF SPECTRUM ANALYSER



基本的なRFスペクトラムアナライザを追加しました。これは主に、リモートレンズ制御システムのチャンネルが近くのRFトラフィックによって踏みじられているかどうかを確認できるようにするためです。スキャンRFモードは、各CineRTチャンネルのRFトラフィックの有用なスナップショットを提供するために残っています。

- ROUNDED METRIC UNITS

制限、ロックアウト、クロスオーバー（「XO」）、およびBUGオフセットメトリックの増分が丸められた増分に変更されました。制限とロックアウトは、2m未満では10cm増分、2mでは20cm増分に設定されています。XOは1mより上で10cm刻みに設定されます…。コミュニティのヨーロッパのユーザーへのちょっとしたラブノート！

- MISCELLANEOUS

- **FPOファインが標準に:** 1/4インチおよび5mmフィルム面調整の増分がFPOメニューで標準になりました。
- **制限/ロックアウトインペリアル増分調整:** ユーザーフレンドリーな3インチの制限またはロックアウト調整は最大10フィートおよび6インチから20フィート。
- **「RF」アラートが追加されました:** ベースセンサーの電力が失われた場合、またはベースセンサーと受話器の間のRF範囲が受話器を超えた場合、High-Brightは「NT」ではなく「RF」を点滅させるようになりました。レンジファインダーの範囲内に検出可能なターゲットがない場合でも、「NT」アラートが表示されます。
- **High-Bright100'ロールオーバー:** High-Brightは、100'を超える1'増分を表示するようになりました。
- **ユーザー定義のニアリミットデフォルト:** 特定のカメラビルドが使用されている場合などに、ユーザーが独自のニアリミットデフォルトを設定できるようにします。
- **ノイズフロア調整アラート:** ノイズフロアがデフォルトから変更された場合の受話器の警告。デフォルトのタッチキーを設定して新しいデフォルトを設定しない限り、シャットダウン時にCineRTベースラインに戻ります。
- **マークスビュースリープホットキー:** 設定メニューのタッチキーを長押しすると、受話器がスリープ状態になり、電力を節約できます。
- **RFスキンの「スキャン」アラート:** CineRTがチャンネル上のRFトラフィックをスキャンするタイミングを明確に示します。ユーザーは、スキャンを中止する場合にアラートを押し続けることができるようになりました。
- **レーザーの有効化を詳細設定に移動:** ベースセンサーターゲティングレーザーを無効にするには、ユーザーは詳細設定で設定を見つけます。
- **HSペアリングセットの速度の向上:** Handset HSを設定するときのペアコードの高速移動。

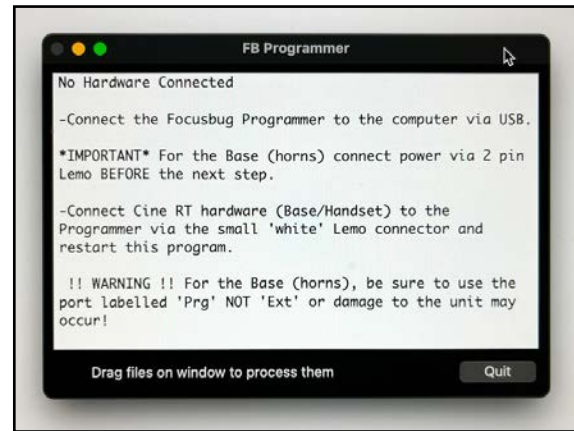
THE RETROFIT & PROGRAMMER



今後のV.21ファームウェア、サードパーティのLCS互換性、RF FLY Tx / Rx (以下の詳細を参照)、および将来のシステム拡張製品を見越して。CineRTベースセンサーおよび受話器用のデータおよびアクセサリポートの改造とファームウェアプログラミングモジュールを提供しています。

新しいCineRTSystemsには、これらのコネクタポートが付属しており、2020年第2四半期以降にシステムを購入した場合は、それらを持っている可能性があります。新しいハードウェアが標準になる前にシステムを購入したお客様向け。選択的レトロフィットは、すべてのCineRTシステムと下位互換性があるように設計されています。一部のユーザーは必要ありません

変形;ただし、統合されたLCSを使用している場合は、新しい機能を利用するために新しいファームウェアのアップロードが必須になる可能性があります。Core CineRTSystemファームウェアにはFocusbugが含まれていません。



新しいPRG-100システムプログラマーと組み合わせると、Retrofitはユーザーがファームウェアをリモートで更新できるようにします。

プログラマーは、プロのLemoハードウェアの整合性を介してCineRTコンポーネントをコンピューターに接続します。MacおよびPC用の使いやすいドラッグアンドドロップアップロードソフトウェアは、<https://www.focusbug.com/downloads>のダウンロードページからまもなく利用可能になります。

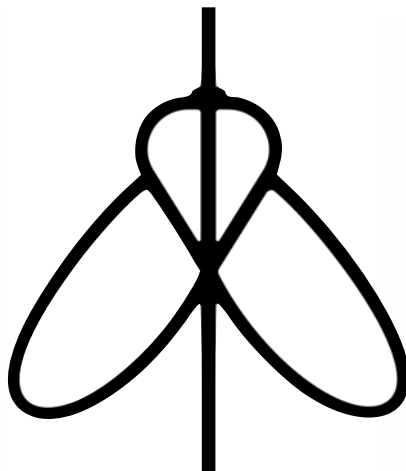
保証上の理由から、レトロフィットはカナダのバンクーバーにあるフォーカスバグ本社で実施する必要があります。レトロフィットキューを開設し、毎月のスケジュールに従ってシステムを受け入れています。ご注文後、空気ができ次第ご連絡いたします。すべてのクライアントに効果的にサービスを提供するには、注文を処理する必要があります

つまり、まだ注文していない場合や、納期が厳しすぎる場合は、対応できない可能性があります。レトロフィットプロセス全体の計画には約3週間かかります。御社が連絡を受け、ご使用のシステムを送付できない場合、弊社では該当の注文を順番の先頭に置き、その後毎月御社に確認を入れます。

THE RF FLY TX/RX & ANCHOR MODE



RF Fly Sensor on Base Sensor*



RF Fly Sensor on Base Sensor*

RF FLYのベータリリースを発表できることにわくわくしています。FLYは、超広帯域利用して長距離ターゲットの測定値を取得するRF送信機/受信機キットです。FLYは、全ての布素材およびガラスを通して送信可能なので、多くの適用に適したツールです。Ultrasonic BUGのように、RF FLYは今もなお見直し線ルールを順守する必要があります、壁などの固体の面は貫通できません。

弊社では、FLYの最良の用途はより近距離でRangefinderと組み合わせて使用することであると確認しました。弊社ではこの関係を“Anchor Mode”と呼ぶもので実装しました。Anchor ModeはRFと超音波処理間で相殺し、各々がフル解像度でデータを送信し、それぞれの技術からの最高の測定値を保証します。



Ultrasonic BUG Tx vs. RF FLY Tx

Focusbug Communityの多くの人々からFLYが現在のBUGの短所に対する解決策であるか尋ねられました。その答えはyes・no両方です。送信機2台はそれぞれ独自の技術的な強みを有するので、FLYは単に送信機のオプションとしてBUGを上回るものではありません。FLYは確実により広範囲・被写体深度の可能性を秘めています。ただし、BUGの一貫して安定性のあるデータは、オートフォーカスのソースとして使用の際に、より優れた汎用結果が得られることをこれまでに証明しています。大方のユーザにとって真の要望は彼らの手作業の能力を支援する踏踏实实な距離参照データであることを弊社では理解しています。しかし、弊社ではまたフォーカス追跡をサポートするLCSとペアにすると可能な限り最良の結果が得られるようにも努めています。

弊社は、FinlandのパートナーSharpeye Systems と彼らのRFハードウェアのホームを Cine RT Systemに作るべく勤勉に協働して参りました。Anchor Modeが最高のデータクローズアップを提供して、FLYは長距離参照デバイスとして価値があると感じています。弊社は、Focusbug Communityの国際メンバー（5）が新製品のテストを実施するにつれ、FLYのCine RT Systemへのソフトウェア統合の改良を継続します。ベータテストの結果に関するレポートを近日中にコミュニティにリリースします！

*RF FLY Base Sensorカップリング・ブラケットはCanada、Vancouver Upgrade Innovationsによるプロトタイプです。

ARRI Hi-5 BI-DIRECTIONAL INTEGRATION



ついにARRI 新Hi-5レンズコントロールシステムとの統合についてお話することができます! 数年にわたり、ArriとともにCine RT SystemとHi-5間の双方向通信の基盤を築いてまいりました。そして、その結果を見出すことができたことを喜ばしく思っています。現在までに、Focusbug統合作業は、Q4/21 Focusbug Licenseリリースに向けて進行中です。

今までに分かっていることは以下の通りです。

Hi-5ユーザはCine RT Systemとの双方向性関係を活用するためにはFocusbug Licenseが必要になります。Focusbug Licenseは、現在宣伝されている300 EURの価格帯でArriから入手可能です。

主要な実装は、一般的に使用されるツールのスイート特にFPO、Sensitivity、Field Of View、Limits、Lockoutを含みます。本統合は、ユーザにはCine RT Handsetがもう必要はないということを意味するものではありません。すべてのCine RT 固有システム設定と操作には今もなおHandsetを介したアクセスが必要です。

Hi-5は、Cine RTソース2個を同時に表示かつグラフィカルに追跡可能です。

Hi-5は、Cine RT Handsetを介して通常収集したマークをTape Modeから自動受信して保存可能です。これは私たちのお気に入りの機能の1つです!

ArriはLCUBEを介したCine RT統合をサポートします。ただし、弊社はLCUBEの更新が必要になることは通知されています。このアップデートには、より高度なシリアルプロトコルをサポートするためのより高速なデータレートの実装が含まれており、すべてのユーザーに有用です。入手状況に関する詳細はまだ知らされていません。

RIA-1はHi-5への最新のシリアルインタフェースであり、新しいシリアルケーブルとYケーブルが同製品で使用するためにFocusbugから入手可能になります。RIA-1は、最速のデータレートをサポートすると期待しています。

詳細はARRIをご覧ください: <https://www.arri.com/en/camera-systems/electronic-control-system/hi-5>

Hi-5に関するコミュニティ情報はこちらをご覧ください: https://www.focuspulleratwork.com/forum/_arri/the-arri-hi-5-megathread

SUPPLY CHAIN ISSUES & LEAD TIMES

「苦痛は自動車産業にとどまりません。不足は、スマートフォンやデータセンターに電力を供給する高価なハイテクデバイスから、重要な商品になり、あらゆるものに散在するシンプルなセンサーやマイクロコントローラーに至るまで、あらゆる種類のチップに及ぶためです。車から洗濯機まで、そして多くの場合、それぞれわずか数セントの費用がかかります。」

- The Economist

あいにく、Cine RT Systemは他の多くと同様に供給網の問題点に苦しんでいるので、自動車と洗濯機の間どこかにあてはまることとなります。ご注意ください。現在の需要の高さと部品不足の複合的理由により、現在システムは完売です。軌道に戻るために朗報もいくつか得ています。しかし、その間、ファームウェアテスト、製品開発およびRetrofitとアクセサリの既存の顧客基盤のサポートを倍増させました。弊社のショッパは現在縮小体制で運営していますが、可能なかぎり地域社会に奉仕するべくここにいます。ご安心ください(そして他の方々も安心させてください)。私たちはバックアップして実行します。

FOCUSBUG OFFICE

最後に、弊社はチームを拡大し、新Office ManagerのVerdellaを迎えたことを発表できることを嬉しく思います。Verdellaの役割は、基本的に我々を激励してまとめていくことで、皆様の支援にも当たります。通常通り、ご連絡は私 sales@focusbug.com まで。またはJonsupport@focusbug.com.まで。Verdellaもまた支援にこちらから連絡可能となります focusbugoffice@gmail.com.

ご質問やご不明な点がございましたらお気軽にお問い合わせください。お元気で! - Laird, Jon and Verdella